

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	19	県外での生活、現在も仕事をしているご家族様も多くおられるので、年に数回の面会の方もおられますが、そうではないご家族様(親戚)もおられます。9人のご利用者様を支えていくには、職員だけではなく、ご家族様と一緒に支援をしていく必要があると思います。気兼ねなく来られるようにするには、どうしたらいいのかを考えていかなければなりません。	ご家族が事業所に来ていただく機会を増やし、連携を図っていく	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業所の行事にご家族様の参加も呼び掛ける</li> <li>・ご家族と日程調整を行い担当者会議に参加して頂く</li> </ul>	12ヶ月
2	59 23	毎日目標を立てて支援を行っているが、いつもと違う表情を見る為に「何をしたらいいのか」を数日前から考えて取り組みを行うことで、いつもの支援よりも入念に準備を行い、ご利用者様、ご家族様、職員が一丸となりご利用者様と一緒に支えていくことが大切である。	日々の支援がルーティン化し、何事無く過ぎて行くだけにならないよう、職員が積極的に意欲を掻き立てる様な支援を行うチームとなる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・シフト作成時に『攻めの日』を作る(週に1~2回)</li> <li>・その日はフロアマネジャーを中心に目標を設定し、積極的にご利用者にアプローチを掛けて行く。</li> <li>・フロアマネジャーは事前に当日の目標を検討し、メンバーとも共有するようにする。</li> <li>・実施した内容は定期的に振り返り、評価をしていく</li> </ul>	12ヶ月
3	62	いずれは、何かしらの疾患、機能低下によって身体の自由が利かなくなるかもしれませんが、その日が来るのを遅れさせることは出来ると思います。	加齢とともにADLや認知症状の低下が見られることが当たり前ではなく、一年後も機能が維持出来ている、または、向上している	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在の状態をアセスメントする</li> <li>・現在の生活では未来がどうなっていくのか想像し、未来予想図(表)に書き出す</li> <li>・ケアプランと連動させ、より良い未来となるような支援内容を導き出し、メンバーで共有する</li> </ul>	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月